



名桜大学および沖縄県への 要請行動について

令和7年11月27日に名桜大学への要請を行いました。また、翌28日には沖縄県への要請を行いました。本市の地域医療の存続に関する課題とその解決に向けて、人材確保と医療体制の維持・強化が重要であると考えるところから実施しております。

■名桜大学への要請

「地域推薦枠創設について」

本市の医療提供体制として、医療従事者の人材確保及び住宅確保の課題があり、離島における安定的な医療提供体制の確保に関する取り組みが早急に求められております。

今回の要請では、宮古島市出身学生の地域推薦枠創設の要請を行うとともに、地元出身の医療人材育成の必要性と中学生及び高校生向けのキャリア教育の重要性についても意見交換を行いました。

■沖縄県への要請

「沖縄県離島患者等通院費支援事業の対象疾病拡大と離島地域における医療体制の維持強化について」

近年、県全体で高度医療の集中化が進む中、宮古圏域においても県立宮古病院のみでは対応が困難な疾病で、沖縄本島の医療機関での受診・治療を余儀なくされている患者が多く存在しております。患者にとっては、経済的および身体的負担となり、治療の継続や早期受診の妨げとなることが懸念されることから、「通院費支援事業の拡充」及び「県立宮古病院における医療提供体制の維持・強化ならびに専門医の定着促進」が急務となっている離島医療の実情の理解と対応を要望してまいりました。

今後も離島全体の医療体制強化に向けた取り組みとして、沖縄県離島振興協議会と調整し、今後の要請につなげていきたいと考えております。

